

# 平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	公共施設課					
基本構想	戦略的行政運営		重点の方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立				
分野別方針	(11)適正な公有財産管理		実施計画事業	1)公有財産管理運営事業(No.85)				
予算等事業名	老人憩の家維持管理経費							
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置。</li> <li>・行財政運営の効率化による経費の重点配分。</li> </ul>							
内容	町内8ヶ所の老人憩の家の運営管理を行い、老人憩の家の簡易修繕等を行う。							
根拠法令・条例等	—							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
<input type="checkbox"/>	③ 未実施				
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由					

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由					

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止)				
	【説明】				

## 総合評価

実績	老人憩の家の統括的かつ効率的な運営がはかれている				
中間評価との相違点	—				
事業指標(数値指標)	地区要望(施設建替・移転等の要望は除く)への非対応件数				
前期(27年度)目標値	—			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
単位:	限られた予算により、要望どおりの対応ができないこともあるが代替策等含め対応することを基本とする				
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	非対応件数とは、具体的な方針・対応が示せなかったもの	
	1				

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		3,486	3,178				
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	B
	<b>【説明】</b> 現在、町民の文化活動の振興やコミュニティづくりの拠点として活用されているが、今後の運営については、類似施設との総合的な運営により、妥当性を検討することも必要である	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	B
	<b>【説明】</b> 利用及び施設への意見・要望が各地域主体のため、統括的かつ画一的な運営や判断について町主体で実施する必要がある	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	<b>【説明】</b> 町民の文化活動の振興やコミュニティづくりの拠点として活用されている	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	<b>【説明】</b> 経費節減しつつ効率的な運営が図れている	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	<b>【説明】</b> 機能維持において、経費節減等行えているが長期的な計画を作成することでより効果的な運用管理をする必要がある	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	・機能維持及び継続的な維持経費節減 ・老朽化した建物の存続・廃止を含めた計画策定	

◎評価者[担当主管課長]

<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	地域のコミュニティづくりの場である老人憩の家の機能維持について目的は達成できている。		
今後の方向性	維持経費の削減を今後も継続する一方、老朽化した建物の存続等について検討する。		